

学 校 だ よ り

令和5年6月30日



7月号

NO. 406

横浜市立茅ヶ崎小学校

学校 <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/chigasaki/>

学校教育目標 自分らしさを創る たくましい ちがさきっ子

ドウメラ ラ ドウメラ マ

～ボツワナでのあいさつの言葉です～

校 長 高橋 美都子

梅雨らしいお天気が続く毎日です。蒸し暑さも加わり、熱中症の心配も増してきました。今年も熱中症指数計とにらめっこの日々が始まるかと思うと気が重くなるのですが、夏が近くなってきたことを少し楽しみにも感じています。

本校では、2008年に開かれたTICAD4（第4回アフリカ開発会議）の際に行われた、「一校一国運動」でご縁のあった、南アフリカのボツワナ共和国と交流を行っています。始まった当初は、高校生に來校してもらいダンスを見せてもらったり、直接対話をしたりしていたのですが、ここ数年は、在日ボツワナ大使館の大使や書記官の方に來校していただき、国際理解教室という形で3年生に授業を行っていただいています。

ボツワナ共和国はアフリカ南部の内陸国で、国土は日本の約1.5倍。1966年に独立した美しい大自然の国です。ゾウの生息する国立公園や野生動物保護区もあります。また、1967年にはダイヤモンドが発見されたことでも有名で、国の大きな資源となっているそうです。

2014年からは、都筑区役所やつづきMYプラザのご協力をいただき、「都筑・ボツワナ交流児童画展」として首都ハボネロにあるベン・テマ小学校と絵画の交流を行っています。互いの大使館のご協力のもと多くの関係機関のご尽力によって続いている、本校の自慢の一つでもあります。

今年は6月22日に、モラケ大使、ジュリア書記官をはじめ大使館の方々、つづきMYプラザからも林田館長をはじめ大勢の方に来ていただき国際理解教室を行いました。在日1年半のモラケ大使は、日本語でボツワナの説明をしてくださり、また、ジュリア書記官は写真を使いながら国立公園にいる動物や資源であるダイヤモンド、ベン・テマ小学校の様子や日常生活の話を、クイズを交えながら教えてください（英語で説明し、通訳をしていただきながら聞きました）、ボツワナを知るきっかけをたくさんいただいた時間となりました。

子どもたちにとってこれまで接点のなかったボツワナ共和国のことを、実際にその国の大使に直接教えていただく。これ以上の国際理解教室はないと思います。「ドウメラ ラ（男性へ向けてのこんにちは）・ドウメラ メ（女性へ向けてのこんにちは）」とあいさつの言葉を教えていただいたとき、「男の人と女の人に使う言葉が違うなんて、初めて知りました。」という感想をもった子がいました。「友達になるには、まずお互いのことを知ることから」私たちの日常生活でも大切なことを確認した時間となりました。

今年は絵画交流が始まり10年目の記念の年です。10月には、ベン・テマ小学校とオンラインでの児童交流が予定されています。また、2月にはアニバーサリーイベントとして市庁舎での会も計画されています。詳細はこれからになりますが、茅ヶ崎小学校の子どもたちが多様性を知るきっかけとなるとよいと考えています。